

施 策 カ ル テ

1 施策の位置付け

								担当課	生活安心課
総合計画 政策の柱	市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	日常生活の安心感を高める	取組の 基本方向	「日常生活の安心感を高める」ため、犯罪の未然防止の環境づくりのための「防犯対策の充実」、交通の安全確保のための「交通安全対策の充実」、火災等の被害の軽減や救急救助効果の向上のための「消防力・救急救助体制の充実」、災害への対応能力を高める「危機管理体制・危機対応能力の充実」、消費者被害の未然防止や救済対策の推進のための「消費生活の向上」、食品危害の未然防止のための「食品の安全性の向上」、健康危機の未然防止や拡大防止のための「危機管理対策の強化」、日常生活の衛生水準向上を図る「生活衛生環境の向上」に、重点的に取り組みます。			政策目標 (基本施策目標)	地域社会や事業者、行政が連携して日常生活を取り巻くさまざまな危機に対応し、市民が、安全で安心した生活を送っています。

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

施策名	交通安全対策の充実	施策の達成状況	施策指標(単位)						達成率 (%)
施策目標	市民の高い交通安全意識と適切な道路整備により、交通安全が確保されています。		H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	
施策を取巻く環境	交通事故発生状況は減少傾向にあるものの、他中核市と比較して事故発生件数及び死者数とも依然としてワースト順位が高い状況にあり、多くの市民が日常生活において安心して暮らせるよう、高齢化の進展など社会変化にも対応した交通の安全確保が求められている。		---	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	---	
		交通事故発生件数 暦年統計	---	4,400	4,300	4,200	4,100	4,000	106.7%
			4,332	3,748				---	
			---						---

市民の施策満足度	37.5%	施策の評価	達成度 (単年度目標)	達成している (90%以上)	概ね達成 (70%-90%未満)		達成していない (70%未満)	説明 交通事故発生件数は減少傾向にあり、年度別の目標は達成している。
市民の施策重要度	83.0%		必要性 (住民・社会ニーズ)	増加している	横ばい		減少している	説明 交通事故件数は減少傾向にあるが、他中核市と比較してワースト順位が高い状況にあり、また、市政世論調査による交通安全対策の充実に対する重要度の割合が高く、さらなる取組みが求められている。
			効率性 (事務事業の進捗)	十分である	不十分な事業が一部ある		不十分な事業が複数ある	説明 各事業において、概ね目標を達成しており、進捗状況としては十分である。
			有効性 (政策目標への効果)	十分である	やや不十分である		不十分である	説明 各事業を計画的・継続的に行うことにより、交通安全の確保へつながり有効である。

現状課題の抽出

交通事故発生件数は減少しているが、市民要望など交通安全対策に対する市民ニーズが高く、また、高齢化の進展など社会環境の変化に対応した安全対策を推進していくうえで地域住民・行政・関係機関が連携し全市一丸となった取組みが重要である。このため、交通事故データの分析をもとにした事業手法の検討や計画的な施設整備について、より効果的、効率的な事業を展開していく必要がある。

3 今後の取組方針

取組の考え方	交通事故発生件数の目標は達成しているものの、交通安全対策に対する市民ニーズが高いことから、交通安全を確保し安全で安心して暮らせる地域社会の形成に向け、関係機関・団体との連携を図り、交通安全意識の向上や交通安全施設環境の整備について効果的、効率的に行うための手法の検討を行いながら計画的、継続的に取り組んでいく。	➡	政策評価 会議意見	市民が心安らかに暮らせる、安全で安心な生活環境を創出するために、交通安全を確保することは重要な要素である。本市における交通事故発生件数の目標は達成したが、交通安全対策に対する市民ニーズは依然として高いことから、関係機関・団体との連携を図り、各事業の効果的、効率的な手法の検討を行いながら継続的に取り組んでいくこと。
--------	---	---	--------------	---

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H19	H20	H19	H20	優先度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費 (千円)	事業費 (千円)			
					実績値	実績値					
1	交通安全教育 担当課 生活安心課	幼児・児童・高齢者	S49	交通安全教室の開催数	280	280	34,183	24,931	A	継続	幼年期から交通安全意識を育てることが重要であることから、幼児・児童に対する交通安全教室を継続させるとともに、高齢者を対象とした教室をより拡充させることで高齢者の交通事故を減らすため、継続して実施していく。
					248	283					
2	子ども自転車免許事業 担当課 生活安心課	市内の小学校4年生	H20	子ども自転車免許事業の開催学校数	-	68		2,830	A	継続	自転車乗り始める年代の児童に対し、自転車の交通ルールや正しいマナーを習得させることは、交通事故防止に有効であることから、継続して実施していく。
					-	66					
3	路上喫煙対策事業 担当課 生活安心課	全市民・本市への来訪者	H20	非路上喫煙率	-	100		16,306	A	継続	路上喫煙は危険行為であり、条例の周知やマナー啓発は路上喫煙防止や歩行者への安全確保に有効な手段であることから、条例指導員による効果も見極めながら、継続して実施していく。
					-	98					
4	交通安全施設整備事業 担当課 道路維持課	全市民	S45	歩道整備延長	440	347	111,741	155,278	A	継続	道路パトロールの強化及び地元自治会や交通管理者との連携により交通危険箇所を把握し、効率的・効果的な対策を実施していく。
					793	889					
5	交通事故多発地点の安全性向上事業 担当課 生活安心課	全市民	H20	交通事故多発地点等への交通安全対策の実施箇所数	-	4		2,064	A	継続	交通事故多発地点の安全を向上させるために、地域からの意見を踏まえ、道路管理者、交通管理者、各種関係団体と綿密な連携を図り、それぞれの役割に応じた効果的な対策を講じていく。
					-	4					
6	交通安全運動の推進 担当課 生活安心課	全市民	S45	交通安全運動の開催回数	3	3	1,687	1,987	A	継続	本市の交通安全を確保するためには、市民一人ひとりの交通安全に対する意識を常に高レベルで維持することが重要であり、特に高齢化社会に対応した取組みが更に重要となってくることから、市民と行政、関係機関が一体となった交通安全運動を実施していく。
					3	3					
7	交通指導員制度 担当課 生活安心課	児童	S45	交通指導員の立哨箇所における交通事故発生件数	0	0	66,076	65,269	A	継続	立哨や見守り活動は事故防止の有効な手段であり、今後も継続して実施していく。
					0	0					
8	自転車放置防止対策事業 担当課 道路維持課	全市民	S63	放置自転車撤去回数	155	155	21,968	21,602	A	継続	放置自転車による交通事故を防ぎ、都市の良好な交通環境と市民の安全な生活環境の確保するため、放置自転車の防止指導および撤去を継続して実施していく。
					147	155					
9	違法駐車防止対策事業 担当課 道路維持課	全市民	H6	違法駐車防止活動日	72	72	3,728	3,672	A	継続	違法駐車台数は減少傾向にあるが、交通モラルの低下、違法駐車増加による交通事故を防ぐため、恒常的に啓発を行なっていく。
					72	72					

様式 2

10	スタンダードサイクリスト事業		自転車利用者	H19	オリオン通り街頭活動数(回)	32	32	3,161	2,559	A	継続	自転車の交通マナー向上を図ることが事故防止の上からも有効であることから、自転車の交通ルールを中学生、高校生に周知する事業への重点化を図り、継続して事業を推進する。
	担当課	生活安心課				31	33					
11	交通安全協会補助金		交通安全協会	S22	高齢・若年運転者講習会受講者(人)	-	-	483	413	B	継続	交通安全活動における安全協会の役割は大きなものがあり、今後も高齢・若年運転者講習会等を充実させることが有効であり、継続して支援していく。
	担当課	生活安心課				395	418					
12	交通安全推進協議会連合会補助金		市交通安全推進協議会連合会	S57	交通安全啓発看板等設置数(数)	-	-	1,687	1,987	B	継続	地域での交通安全活動を展開する上で、推進協議会の果たす役割は大きく、今後もさらに地域の活動を充実させ、交通事故防止を図るため、推進協議会への支援を継続して行っていく。
	担当課	生活安心課				48	201					
13	交通安全母の会連合会補助金		市交通安全母の会	S46	新入学児童への交通マナーパンフレット配布枚数(枚)	-	-	598	598	B	継続	交通安全の意識を家庭から育成し、かつ新入学児童への街頭活動を継続することが必要であり、団体の活性化を図りながら、母の会への支援を行っていく。
	担当課	生活安心課				5,760	5,650					
14	交通指導員連絡協議会補助金		市交通指導員連絡協議会	S45	研修参加者数	-	-	768	968	B	継続	児童生徒の登校時における安全確保のための活動は重要であり、指導員の資質向上を目的とした研修等を継続していく。
	担当課	生活安心課				118	109					
15	暴走族対策		全市民	H13	チラシ回覧配付枚数	15,000	16,000	231	364	C	継続	暴走族構成員の数は減少傾向にあるが、今後も根絶に向け、継続して実施していく。
	担当課	生活安心課				14,945	16,000					
再掲	道路バリアフリー推進事業		全市民	H13	点字ブロック整備延長	1,200	1,500				継続	「宇都宮市道路バリアフリー整備計画」に基づき、医療・福祉施設、市中心部、駅周辺等の整備を進めていく。
	担当課	道路維持課				1,371	1,011					
施策事業費合計								246,311	300,828			